

5年「森の絵」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう1文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「捉え」「よさ」「大切さ」「態度」「意欲」を考えさせる
- つなぎ発問②**…展開後段で出された道徳的価値への考えを具体化したり、生活とのつながりを実感できたりする問いや話を入れ、終末の振り返りの手がかりにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

「皆さんの考え方や行動は、もっとよくなります。そのために振り返りましょう」

まず、今日の学習から、学んだこと・分かったことを書きましょう

そして、次のことについて書きましょう

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※この中から、先生がいくつか指定して書かせる、または、子どもが自分で選んで書かせます

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主 題	自分がやらなきゃ誰がやる 心構えをもとう	みんなの中でやる以上 責任がある	よりよい集団にしよう
導 入	皆さんは、学級の一員、学校の一員、家族の一員です。一員としてどんな気持ちをもつのか考えましょう	責任と聞くと、どんなことを思いますか	皆さんのクラスは、4月と比べると、どのように変わってきましたか
展 開 前 段	○装置に色を塗りながら、えり子は、どんなことを思っていたでしょう ○文男の様子を見て、えり子は、どんなことを思ったでしょう ○森の絵を塗りながら、えり子は、どんなことを思ったでしょう	○刺繍係になったとき、文男は、どんなことを思ったでしょう ○文男は、どんな思いで「誰かがやらないと、劇にならないじゃないか」と言ったのでしょうか	○装置に色を塗りながら、えり子は、どんなことを思っていたでしょう ○文男の様子を見て、えり子は、どんなことを思ったでしょう ○森の絵を塗りながら、えり子は、どんなことを思ったでしょう

つなぎ発問①	○このクラスのよいところは、どんなところでしょう ○あなたは、学級でどんな役割がありますか。学校ではどうですか。家ではどうですか ○学級の一員と言われることは、どういうことでしょう	○あなたは、学級でどんな役割がありますか。学校ではどうですか。家ではどうですか ○その役割をどんな気持ちでやっていますか ○やりたくないからやらない、誰かがやってくれると思って、自分の役割がなくなってしまったらどんな気持ちになるでしょう	○みんなで劇を成功させるとは、どういうことでしょう ○この劇が成功した後、えり子のクラスが、どんなクラスになるとステキでしょう ○劇などの行事が終わってしまうと、また、元のクラスに戻ってしまうこともよくあります
展開後段	学級でも学校でも家庭でも社会でも、みんなの一員として、どんな思いや考えをもつとよいでしょう	学級でも学校でも家庭でも社会でも、責任をもって行うということは、どうして大切なのでしょうか	私たちは、毎日、クラスで、どんなことを考えて過ごすべきなのでしょう
つなぎ発問②	この学級を船に例えると、皆さんは、この船の乗組員です。力を合わせて、ステキな船の旅を続けましょう	皆さんには、それぞれの責任を果たす力があります。その力を大いに発揮してください。期待しています	皆さんのクラスは、まだまだこんなもんじゃない。もっともっとよいクラスになれる。どのようによくなっていくか楽しみです
振り返り			